

「市民参加と協働の実施計画の実施状況」（H29 実績）

＜前回委員会での調査依頼事項等＞

1. 「現在公募を行っていないが、公募の導入を検討している審議会等」の公募時期および公募人数の目標について

審議会等名	全体 委員数	公募時期 (目標)	公募人数 (目標)	担当課
南丹市行政評価推進委員会	—	未定 ※1	未定	行政 改革室
南丹市地域公共交通会議	19 人	H31.7~8	1 人	地域 振興課
南丹市有線テレビ放送番組審議会	12 人	未定 ※2	未定	情報 政策課
南丹市文化センター運営審議会	18 人	H32.4~5	1~2 人	人権 政策課
南丹市健康づくり推進協議会	15 人	未定 ※3	未定	保健 医療課
南丹市健康増進・食育推進計画策定委員会	—	未定 ※4	未定	保健 医療課
南丹市高齢福祉計画・介護保険事業計画策定委員会	16 人	H32.1~2	2 人	高齢 福祉課
南丹市放課後児童健全育成事業運営委員会	10 人	未定 ※5	未定	社会 教育課

※1: 行政改革の取組と連動させ、より効果的な行政評価に移行できるよう現在委員会のあり方について検討中。

※2: 市民公募を実施するためには例規改正が必要だが、倫理規定等専門的な議論になることが多いため検討中。ただし情報センターの市民アンケートで市民の意見は徴取するように努めている。

※3: 現在の協議会の名称を変更し、新たになんたん健幸都市の推進を含めた内容で、拡充した協議会を設立したいと考えており、具体的に構成人員も含め検討中。

※4: 平成 29 年度に 10 年計画を策定したばかりであることから、次回開催の予定が立っていない現状であるため。

※5: 委員会として議論しているのが、放課後児童クラブ内で発生した課題についての具体的な対応であるため、一般参加の市民を入れるべきか検討中。保護者の中から立候補または依頼にて選出された委員 4 名が性質的には市民公募に近いという認識。

2. 南丹市政へのご意見箱の処理実績(無回答分 49 件)について

<内訳>

営業:19 件

迷惑、イタズラ、主旨不明 :9 件

役所外業務 :6 件

他人、他団体への誹謗中傷 :3 件

その他(回答不可、必要性がないもの) :12 件

3. 南丹市政へのご意見箱の投稿割合(ホームページ/紙ベース)について

<内訳>

ホームページ:93 件

紙(本庁・支所窓口に箱設置):4 件

4. 住宅環境整備委員会の平成 29 年度開催状況について

平成 29 年度は毎月開催

平成 30 年度はこれまでの開催結果および市長交代も踏まえて開催方針検討中につき、未開催

5. 出前講座の平成 29 年度実績の内訳について

N o	実施日	テーマ	担当課	依頼団体	参加数
1	6/5	南丹市の高齢者福祉	高齢福祉課	平屋地区地域福祉推進協議会	27
2	6/22	南丹市の高齢者福祉	高齢福祉課	美の里笑話サロン	25
3	7/4	地域防災対策	総務課	子育てを楽しむ会@美山	10
4	7/4	地域防災対策	総務課	京都生協 南丹・京丹波エリア会	9
5	7/27	南丹市の都市計画	都市計画課	JR八木駅東口周辺整備促進協議会	17
6	11/21	消費生活相談	商工観光課	美山町民生児童委員協議会	27
7	1/26	ごみの分別・排出方法と ごみ処理の現状	市民環境課 美山支所 市民 生活課	美山町和泉区	15
8	2/18	農業振興支援	農政課	農業の持続を目指す学習会	15
計					145

※受講日、受講テーマ、団体名、参加人数、担当課について、HP に掲載中

(<http://www.city.nantan.kyoto.jp/www/shisei/113/005/index.html>)

6. 他市町村における市民公募審議会の割合について

亀岡市:23/53 ≒ 43.4%

木津川市:9/38 ≒ 23.7%

長岡京市:29/59 ≒ 49.2%

京丹後市、舞鶴市、綾部市、福知山市、宇治市、京丹波町:現時点で提供可能なデータ無し

7. 学生アンケートの平成 29 年度実績について

実施学校: 明治国際医療大学

実施件数: 77 件

その他

< 前回・過去委員会での調査依頼事項等 >

1. 市長への意見書(H29.4.18)提出後に期間が空いた理由

意見書をいただいた時期(H29.4.18)には、既に各課あて通知を发出済であった(H29.4.4)。

次回(平成 30 年 5 月 8 日)の通知にて、意見書の内容を記載し、併せて意見書の写しを添付し通知を发出した。

2. 市ホームページにおける発言録の探しやすさの課題 ※別添参考資料①

階層・カテゴリについて

⇒現在市ホームページの刷新作業中につき、全体的に見直し検討中

検索機能の改善について

⇒グーグル社のシステム依存につき、改善は難しい(閲覧数の多いものが上位に表示される仕組み)

< 話題提供 >

1. 旧八木町時代の「電子会議室」について ※別添参考資料②

電子会議室とは？

⇒市民と行政、または市民同士とのオンラインでの議論を目的としてホームページ上に設置されたチャットルームに類するもの

・リアルタイムでのチャット会議のような運用ではなかった

(市民の書き込み > 行政側で回答検討 > 行政が掲示場に回答、という流れ)

・15～20年程度前のこと、当時ブームがあった

・他団体で誹謗中傷や個人攻撃の書き込みが頻発し廃止となった件もあった

・南丹市では投稿が少なく、議論になることは少なかった

⇒合併に伴い、現在のご意見箱の形に

2. 「市民会議室」について ※別添参考資料②

市民会議室とは？

⇒市民が自由に入出入り・利用できる会議室

・氷見市の事例は、施設の耐震化問題、不特定多数が庁舎に入出入りすることへの問題視があり、計画が頓挫・設置できず

・氷見市でも現在も部屋としては存在、ただし室内のコピー機貸出しが行っていない

3. 市民提案型まちづくり活動支援交付金事業「大学提案枠」新設について

※別添参考資料③